



Title	阪大法学 67巻 1号 既刊目次/奥付
Author(s)	
Citation	阪大法学. 2017, 67(1)
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/87011">https://hdl.handle.net/11094/87011</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

既 刊 目 次

第六六卷 第六号（通卷第三〇六号）

論 說

「同一労働同一賃金」に関する覚書 統

——公務員にとっては他人事の世界——

相統における内縁配偶者の法的地位について……………小 島 典明

ドイツにおける行政訴訟の類型の歴史的發展（二）……………青 竹 美佳

議会による執行のコントロールの概念論からの再検討

——ドイツにおける一九八〇年代までの「政府・議会多数派」——

反対派「図式」の通説化の過程……………柴 田 堯史

韓国不正競争防止法の一般条項による知的成果物の保護……………申 賢哲

中立的行為による幫助犯の成立と可罰性（二・完）……………金ジャンディ

イングリランド初期印刷史における法文献印刷

——「フラクトン」印刷本出版とその影響の

検討の前提として……………松 本 和洋

「総合調整」主体の組織編成

——総理府・総務庁・内閣府に着目して……………小 林 悠太

資 料

純粋法学に照らしてみた行政裁量

——「ケルゼン・ルネッサンス」シンポジウム——……………高 田 篤

裁量の二重の顔

——行政による自由な決定の

余地の法理論的測定……………マテイアス・イエシユテット

マテイアス・イエシユテット教授の

講演に対するコメント……………黄 舒 凡

行政の行為余地の法理論的検討……………宮 村 教 平

——歴史的観点から見た純粋法学の意義……………高 田 倫 子

